

[標準様式例1-1]

山梨県入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和8年8月20日 午後2時から午後3時30分まで 恩賜林記念館 特別会議室		
委 員	委 員 長：武藤 慎一（山梨大学大学院教授） 委員長代理：猪狩 学 （弁護士） 委 員：齋藤 雅代（山梨学院大学教授） 萩原 孝恵（山梨県立大学教授） 吉井 敏瑞（一級建築士）		
審議対象期間	令和8年4月1日～令和8年6月30日		
総契約件数	105件	(備考) 審議件数 ・一般競争入札 7件	
一般競争入札	105件		
(総合評価)	(74件)		
通常指名競争入札	0件		
随意契約	0件		
指名停止状況	2件		
私的独占又は不当な取引制限に係る情報処理状況	0件		
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	審議した7件については、適正に処理されている。		

別紙

《抽出事案の審議》

1 〔一般競争入札（事後審査）〕

峡東林環事-26-0065 金川の森木製遊具更新工事（余フ）

〈工事概要〉

コンビネーション遊具（小）更新工（H=2.6m, W=4.0m） 1 基

ターザンロープ更新工（H=3.7m, L=15.0m） 1 基

ロープ渡り更新工（H=2.0m, L=9.0m） 1 基

砂場外周柵・門扉更新工（H=0.9m, L=18.4m） 1 箇所

鉄道撤去工（手漕ぎ機関車）（H=1.6m, W=1.0m, L=3.0m） 1 基

予定価格 25,790,600 円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

○本店所在地 : 県内

○競争入札参加資格 : 造園工事業

○企業の施工実績 : 1,000万円以上の造園工事

〈質疑応答〉

Q) 既存の遊具を更新しているのか。

A) 金川の森公園は平成8年の完成から約30年が経過しており、木製遊具等の老朽化が進んでいることから、国の補助金を活用しながら、毎年度、遊具等の更新を行っています。

Q) 撤去するものは、使用率が低いなどの理由があるのか。

A) 今回撤去するのは、手漕ぎ機関車です。過去に、手漕ぎ機関車を動かしていた利用者が他の利用者と接触する事故を起こしたことから、その後は機関車を固定し、利用できない状態としていました。今回の工事を機に撤去することとしたものです。

2 〔一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査）〕

中北林環事-26-0083 林道荒川線改良工事(余フ)

〈工事概要〉

林道改良 L=143m W=4.0m

落石防護網工 A=1,635m²

予定価格 42,894,500円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

○本店所在地 : 県内

○競争入札参加資格 : とび・土工工事業

○企業の施工実績 : 落石防護工を含む2千万円以上のとび・土工・コンクリート工事

ただし、元請として請負い平成23年4月1日から入札参加申請締切日まで
に完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資
比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工
実績として扱う。

〈質疑応答〉

Q) 現地状況写真をみるとすでにコンクリートで固められていますが、今回はその工事ではなく、落石
防護網の設置工事だけか。

A) はい、令和6年度にモルタル吹付をしておりますので、今回の工事はその上に防護網をかけるのみの
工事です。

Q) 現地状況写真の工事箇所すぐ横に設置してある落石防護網は、別の工事か。

A) はい。それは令和7年度に設置した別の工事の落石防護網です。

Q) 隣の工事と、今回の工事の施工業者は同じか。

A) はい。同じです。

Q) 16ページ、総合評価落札方式に関する評価調書の「価格以外の評価結果」に、「企業の技術力」の
「企業の施工実績・工事成績」が0点だが、令和7年度に行った隣の工事成績による評価が0点なの
か。

A) 今即答できないので、調べてお答えします。

Q) 令和7年度の工事は、特に問題がなかったか。

A) はい、特に問題はありませんでした。

後ほど調べてご回答しますが、前回の工事業種は「土木工事業」であり、今回の工事は「とび・土工
工事業」のため、工事種類が違うためだと思われます。

3 〔一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査）〕

富東林環事-26-0019 林道細野鹿留線（御正体山西工区）開設工事

〈工事概要〉

林道開設 L=123m W=5.0m

土工 V=3,780m³

舗装工 A=575m²

擁壁工（コンクリートブロック積工） A=244m²

法面保護工（種子散布工） A=422m²

法面保護工（植生基材吹付工） A=754m²

法面保護工（モルタル吹付工） A=610m²

排水施設工（横断溝） L=10m

排水施設工（L型側溝） L=116m

予定価格 79,970,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- 本店所在地 : 富士・東部林務環境事務所管内
- 競争入札参加資格 : 土木工事業 A又はB
- 企業の施工実績 : 2千3百万円以上の道路工事

ただし、元請として請負い平成23年4月1日から入札参加申請締切日まで
に完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資
比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実
績として扱う。

〈質疑応答〉

- Q) 16ページの総合評価落札方式に関する評価調書で、「価格以外の評価結果」の「企業の施工実績」の「事故及び不誠実な行為」がマイナス評価なのはなぜか。
- A) この業者は令和7年4月に県発注公共工事で労災事故を起こしており、2週間の指名停止処分を受けています。そのため、この工事の評価調書では、「事項及び不誠実な行為」がマイナス1点となります。
- Q) 応札可能業者が多いわりに応札者が1者だが、何か理由があるか。
- A) あくまで推測ですが、この工事は市街地の工事と違い急峻な山間部の工事で、やや難易度が高い工事のために、応札者が少なかったのではないかと思います。また、昨今技術者が不足しているため、他の工事に技術者を配置していて、応札することができなかった業者もあったかもしれません。
- Q) 1者入札になった理由として技術者不足が推測されるということだが、入札参加資格は本店が富士・東部林務環境事務所管内となっている。入札参加資格を県内に広げなかった理由はあるか。
- A) 入札参加資格は8,000万円以上で本店所在地が県内になりますが、今回は8,000万円未満の工事でしたので富士・東部林務環境事務所管内になりました。
- Q) 難易度の高い工事の場合、入札参加資格を通常より広げることはないか。
- A) この工事は平成21年度から継続的に行っているのですが、これまでも8,000万円未満であれば、管内ということでやってきたので、今回もこれまで通りの発注を行っております。
- Q) そのことにより、応札者が1者になったというものもあるのか。

A) 応札可能業者は67者あるため、そのようなことはないものと考えております。

Q) 業者が十分に参加可能な状態か。

A) はい、そのように考えております。

Q) 長い年度に渡って行われている工事ということだが、今までの工事について応札者は1者か。

A) 初年度は3者の応札があつたのですが、それ以降は1者です。

Q) 同じ業者による1者入札か。

A) はい、そうです。

4 〔一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査）〕

峡東建設事-26-0029 国道411号東雲歩道橋補修工事（余フ）

〈工事概要〉

横断歩道橋塗替塗装工 A=360m²

橋面防水工 A=60m²

予定価格 48,037,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- 本店所在地 : 県内
- 競争入札参加資格 : 塗装工事業
- 企業の施工実績 : 1千万円以上の橋梁、水門等（※1）の鋼構造物塗装工事

※1 対象工事と同種と認められる鋼構造物工事も可

ただし、元請として請負い平成23年4月1日から入札参加申請締切日まで
に完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資
比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工
実績として扱う。

〈質疑応答〉

- Q) 歩道橋は山梨県に限らず、全国的に減らしていく方向性ということは承知しているが、利用状況の調査は実施しているか。
- A) この歩道橋は東雲小学校への通学路にあたり、1日当たり20名程度の児童が使っているようです。
- Q) 歩道橋を使わずに通学可能かは考えているか。
- A) 全校生徒80名程度のうち、全体の4分の1程度が利用していること、国道は通行量が多いことを考えると、歩道橋をなくすという選択肢は考えにくいです。
- Q) 今回は塗装工事のみだが、もっと根本的な工事が必要ではないかと思った。この歩道橋は、いつ作られたのか。
- A) 昭和43年8月に設置しているので、58年経っています。
- Q) 歩道橋の安全面は大丈夫か。
- A) 5年に1回定期点検をして、不具合等があれば補修をしています。
- Q) 16ページの総合評価落札方式に関する評価調書のうち、価格以外の評価結果の点数が入っていないことが気になったが、この業者は県内であまり実績がないのか。
- A) 評価項目で求める企業の同種工事の施工実績金額が高かったため、この業者は同種工事の施工実績がありませんでした。そのため、点数がはいっていません。
- Q) この企業の実績は十分か。
- A) 公共事業の塗装工事の実績はございます。

5 〔一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査）〕

新環状建設-26-0011 （主） 韮崎南アルプス中央線道路情報板 更新工事（その1）

〈工事概要〉

道路情報板更新 N＝2箇所（3面）

予定価格 78,727,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- 本店所在地 ： 県内
- 競争入札参加資格 ： 電気通信工事業
- 企業の施工実績 ： 3千万円以上の電気通信工事

ただし、元請として請負い平成23年4月1日から入札参加申請締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

〈質疑応答〉

Q) 今回は3面の更新だが、他にやっている更新工事はあるか。

A) 情報板の更新については、令和4年度に開始し、同年度に2件、令和5年度に2件の実績があります。

Q) それら工事の受注業者は、今回の業者と同一か。

A) 4件のうち1件がこの業者で、その他は他の業者になります。これらの工事も、最低でも6者の応札がありました。

6 〔一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査）〕

中北建設事-26-0091 つくしのー1急傾斜地崩壊対策工事（余フ）

〈工事概要〉

吹付法砕工 A=1,170m² 仮設工 一式

予定価格 80,135,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

○本店所在地 : 県内

○競争入札参加資格 : 土木工事業 A又はB

○企業の施工実績 : 請負金額2千4百万円以上の河川・砂防工事

ただし、元請として請負い平成23年4月1日から入札参加申請締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

〈質疑応答〉

Q) 参加業者のうち、1者は辞退したのか。

A) はい、辞退しております。辞退した理由は、入札の決定根拠となる実行予算を算出したところ、予定金額を超えてしまったためと聞いております。

Q) それは、物価上昇などの状況を反映したためか。

A) 資材価格の高騰や物価高騰、労務費の高騰については、設計の段階で適正価格を見積もっているのですが、現場条件、施工方法により価格が合わなかったと考えられます。

Q) 物価高騰などの最近の状況については、予定価格に反映されているか。

A) はい、反映されています。

Q) 価格以外の評価結果の配置予定技術者の能力のところが0点の理由は、配置予定技術者が同種工事の施工実績がなかったという理解でよろしいか。

A) はい。配置予定技術者が今回の対象とする工事に加点するものがなかったもので、0点となっています。

Q) 企業の施工実績の工事成績は4点のため、この業者は信頼に足る業者と考えて良いか。

A) はい、災害協定の締結、年間の維持管理業務委託など加点されており、企業の信頼性、技術力は問題ありません。

7 〔一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査）〕

峡南建設事-26-0023 東川排水機場電気設備更新工事（一部債務）（余フ）（補特）

〈工事概要〉

東川排水機場電気設備更新工

自家発電機整備 N=1台、発電機盤 N=1面、

始動用直流盤 N=1面

予定価格 170,390,000 円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

○本店所在地 : 指定なし

○競争入札参加資格 : 山梨県における建設工事（電気工事）の入札参加資格を有する者で令和7年10月1日の直前に終了する事業年度を対象とした経営事項審査の電気工事に関わる総合評定値が1100点以上の者

○企業の施工実績 : 請負金額8千万円以上の揚排水機場の電気工事
ただし、元請として請負い平成23年4月1日から入札参加申請締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

〈質疑応答〉

Q) この工事は、難しい工事か。

A) 難易度としては、6段階の3になる工事です。

Q) 落札業者は東京の業者だが、本店所在地は指定なしのため、全国に門戸を開いているということか。

A) はい、そうです。

Q) 河川の排水機場は全国的にありそうだが、入札参加資格は全国に門戸を開いているか。

A) 県内に入札参加資格を満たす業者が1者のみのため、排水機場の電気工事は全国規模で設定しています。

Q) 県外の業者で、今までに不具合はあったか。

A) 総合評価で企業の技術力、信頼性を評価しているため、不具合はありません。

以上